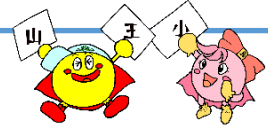




7月3日撮影

# 山王小だより

男子218名 女子194名 計412名



令和6年7月5日 No.13

狭山市立山王小学校



校長 市川 博康

## ★1学期もあと9日★

6月末に行われた授業参観、懇談会にはご多用の中、お越しいただきありがとうございました。

朝、正門付近に立っていると、〇〇さんは昨日より元気がいいな、何かよいことあったのかな、6年生は学校のリーダーとしてしっかりと挨拶ができていいるな、1年生の足取りが4月に比べてしっかりしてきたな、月曜日は全体的にちよいと元気がないな、ドジャースやヤンキースの帽子を被っている子が増えたな…など、いろいろなことに気付かされるとともに、子供たちの成長の早さに驚かされています。1学期も残すところ2週間となりました。暑い日が続きますが、子供たち、そして保護者の皆様方も体調にお気をつけてお過ごしください。

## 1 学年集会 (7月3日: 8:25~8:40)

山王小学校では、月に一度、学年ごとに集会を実施しています。約束ごとや学年行事の内容について、共通理解を深めることを目的としています。この日は、3年生から6年生が主に1学期末のまとめについて各担任から話がありました。

《学年集会の主な内容》

- ・3年生⇒7月の生活目標、夏休みの過ごし方について
- ・4年生⇒7月の生活目標、行事について、市内音楽会に向けての説明
- ・5年生⇒タブレット端末の使い方について
- ・6年生⇒2学期の行事について (市民体育大会、運動会、修学旅行)



4年生



5年生



6年生

## 2 6年生社会科見学 (7月3日: 国会議事堂、科学技術館)

国会議事堂 (参議院) ⇒参議院特別体験プログラム⇒科学技術館へ行きました。バスの中からは、厚生労働省や経済産業省、外務省などなど、霞ヶ関の省庁を見学し、皇居外苑をぐるりと周りながら、バスガイドさんからの歴史クイズに答えていました。(江戸城を築城した人を「太田道灌」と答えたすごい6年生がいました) この日は、関東いろいろな地域の小学校が見学に来ていて、大変混雑していました。国会は衆議院、参議院ともに一般開放をしていますので、夏休みにお子様を国会を案内してもらってはいかがでしょうか。



参議院内



参議院特別体験プログラム



科学技術館

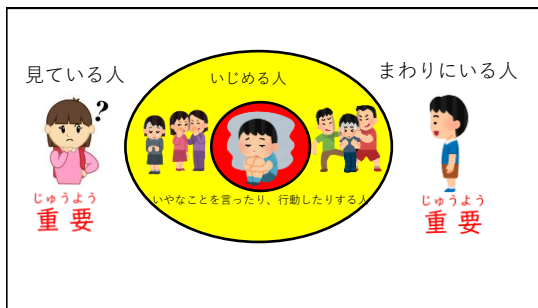
### 3 講話朝会（全校朝会） ～いじめについて～ 【6月26日：体育館】

6/26の講話朝会では、全校の子供たちに以下のような話をしました。

「**相手が嫌がることは、絶対にしない**」友達関係についての大前提です。**相手の表情、行動をよく見て、相手のことを考えながら行動すること**です。そして、ちょっかいを出されていたり、いじめられている人がいたり、そういう場面を見たり、感じたりした時の**周り**にいる人や、**見ている人の重要性**を子供たちに伝えました。

「**ちょっかいを出されている人を見かけたら、あなたならどうしますか？**」と全校児童に問いかけました。子供たちは、一人で考えたり、周りの人と対話したりした後に数人に発表してもらい「注意をする」「先生に伝える」等の意見が出ました。私からは

- ① ちょっかいを出されている子に「大丈夫?」「何か力になれることある?」等と声をかける。「大丈夫」と言われても少しの間見守る。
- ② 注意をする。(なかなか難しいですが、悪気なくちょっかいを出している場合もあるので、声をかけて気付かせる。言っても言動を止めないのであれば③へ)
- ③ 担任や他の先生など、大人に連絡する。



ちょっかいを出されている人を見かけたら、あなたならどうしますか？

- ① 声をかける (ちょっかいを出されている人に)
- ② 注意する
- ③ 担任の先生や他の先生に連絡する

たん にん    せん せい    ほ か                      れん らく

先生や親に伝えると「言いつける」「チクる」などと言う人がいますが、「連絡」です。例えば、目の前で交通事故が起きたら、誰かに伝えます。それと同じです。何も行動を起こさなければ、いじめている人と同じ考えだと認識されます。何か行動できることがあるはず。

クラスや小集団の雰囲気が「悪は許さない」正義感が支配しているのか、何かが起きても「自分には関係ない」と他人の雰囲気が支配しているのか、どちらが支配しているかが重要です。この**正義感のある雰囲気をつくるのは、子供たち自身**です。周りにいる人、見ている人が「自分事」と捉えることが重要です。

#### 【子供たちの感想】

「私が見かけたら、注意することなく通りすぎてしまうと思います。しかし、校長先生が注意できなくても、伝えることはできると言っていたので、自分のできることをしたいと思いました。」

「周りで見ている人が重要だと分かりました。私は今まで、いじめている人がやめればいいやと思っていたけど、周りの人が声をあげればいいと気がきました。いじめられている人を見かけたら、注意をしたり、きかなかつたら先生に相談したりしようと思います。」

「私は、この話を聞いて、私もちょっとはいじめに近いものやっていたと思いました。今度からは、自分がやる側ではなく、注意する側、相談にのる側になろうと改めて思いました。」

最後に「**学校で嫌なことがあったらどうしますか？**」という問いかけをしました。友達や先生、家に帰ってから相談するなどの意見がありました。子供たちに自分で考え、判断し、行動する「自律する力」を身に付けるためには、失敗を恐れず、まずは、「自分で解決するよう努力すること」しかし、直接言えない場合もあるので、「自分の口で担任の先生、隣の先生、保健室の先生などに言うこと」必ず学校の中の誰かが力になってくれますと話をしました。ご家庭でも「**相手が嫌がることは、絶対にしない**」ことを再確認していただけると幸いです。